

第1回武蔵野市第5期健康推進計画・食育推進計画・自殺総合対策計画専門部会に係る委員からの質問・意見に対する回答

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
1	質問・意見提出用紙（メール）	2-④		14	質問	専門部会の庶務とは、どんな業務でしょうか。専門部会委員との業務分担は、どのようになりますか。会議録などの書類の作成は、「事務局」の担当ですか。	庶務とは、専門部会の開催・運営に必要な事務全般となります。開催連絡や議事録、アンケート調査のほか、計画（案）策定に必要なデータ・資料を収集・作成し、専門部会による議論や文案作成の基礎資料を提供します。 会議録は、事務局（庶務）で作成し、専門部会委員の皆様へ発言内容の確認を依頼した後、市HP等で公開します。
2	第1回部会	6			意見	外国人関連の団体（「MIA（武蔵野市国際交流協会）」など）からヒアリングを行ってほしい。	MIAと協議して、ヒアリングの内容等を調整します。
3	質問・意見提出用紙（メール）	6			意見	市民に性的少数者が一定割合いるかと思えます（市民アンケートで約10%が性別を「その他」、または無回答を選択していたと思えます）。健康推進計画にも性的少数者の視点を取り入れることが大切かと思えます。外国人に対してヒアリングをすることをお願いしましたが、性的少数者を支援している団体等からもヒアリングをすることをご検討ください。	武蔵野市では、武蔵野市立男女平等推進センター等にて性的マイノリティの方を支援しています。健康づくり推進員、MIAへのヒアリングとあわせて検討いたします。 武蔵野市立男女平等推進センターと協議して、ヒアリングの内容等を調整します。
4	第1回部会	6			意見	教育委員会で行った子ども生活実態調査のデータを今後部会に展開してほしい。	資料1-③のとおりです。
5	第1回部会	6			意見	子どもの権利条例検討時のアンケートを確認してほしい。	資料1-②のとおりです。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
6	質問・意見提出用紙（メール）	6	1	27	意見	アンケートは6年に1回の実施のようですが、施策が有効か見直しが必要かを確認するには頻度が少ないので、簡易的なアンケートも途中で実施して効果測定してはどうでしょうか。	計画期間の中間年度に中間評価を行うことを想定しています。その際に事業の取組み状況に加えてアンケートによる現状把握に努めることを想定しています。
7	質問・意見提出用紙（メール）	6	1	27	質問	回答率50パーセント未満というのは、問題ない水準なのでしょうか。	今回の回答率は42.7%であり、前回28年度の40.1%に比較すると、回答率は増加しています。なお、対象者抽出の条件を同一にしている健康福祉部内の他アンケートにおいても、同程度の回答率となっていますし、武蔵野市が実施する他アンケートと比較しても低くはない回答率です。 有効性の判断は難しいですが、事業実施状況や他調査の基礎資料も合わせて、現状の分析・把握をお願いします。 今回より、WEBによる回答方法を増やしましたが、今後も手法等を検討していきたいと考えています。
8	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（1）	27	質問	回答率の年齢、性別による回答率にどんな偏りがあるのでしょうか。	アンケート調査報告書7～8頁に記載のとおりです。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
9	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（1）	27	意見	ボリュームのあるアンケートなので、多忙な現役世代の回答率をアップするためにも、回答者全員に何らかのインセンティブをつけてはいかがでしょうか。	健康福祉部内の他アンケート調査や市が実施する他アンケートと整合を図りながら、実施可否を検討いたします。
10	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（2）	27	意見	アンケートの選択肢が主観的で、実態の把握には個人の価値観で大きくずれてしまいます。より具体的な内容にあらためてはどうでしょうか。前回との比較はできなくなるかもしれないが、より正確な実態を把握できます。	アンケート実施に関する助言として、検討させていただき、次回の実施における参考とさせていただきます。 ご指摘のとおり前回との比較ができなくなる側面や選択肢が増えると回答率にも影響がありますので、有効な見直しとなるよう、「より正確な実態を具体的に把握すべき設問」などを専門部会にてご意見賜ればと思います。
11	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（1）	27	意見	1) 回答者の属性 全数は、854名で性別の割合は、明記していただいています但し人数の表記がありません。 性別の人数は、P31の間35の結果より、女性474名、男性は380名と推測しました。属性の割合だけでなく人数も明記していただくと回答者の属性が分かりやすいと思いました。	アンケート調査報告書8頁より算出していただくと、男性357名、女性472名、その他2名、無回答23名となります。健康福祉部内のアンケート調査では、統一して割合のみを記載しています。 次回のアンケート実施における参考とさせていただきます。
12	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（2）	28	意見	市民感覚としては、かかりつけ医の存在が自分の健康管理にどのようなメリットがあるか、理解できていません。アンケートをとるのであれば、注釈として行政としてかかりつけ医により何を実現したいものかを説明してはどうでしょうか。	アンケート実施に関する助言として、検討させていただき、次回の実施における参考とさせていただきます。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
13	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（3）	28	意見	ストレスは適度な緊張感を与える程度のものであれば、健康に害とはいえないので、精神的な理由による不眠、食欲不振などの症状についての調査にはどうでしょうか。	アンケート実施に関する助言として、検討させていただき、次回の実施における参考とさせていただきます。
14	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（4）	28	意見	喫煙状況については、家族、周囲の人間への健康悪化に配慮しているかも気になるので、喫煙者の周囲への迷惑自覚状況を調査してはどうでしょうか。	アンケート実施に関する助言として、検討させていただき、次回の実施における参考とさせていただきます。
15	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（6）	29	意見	朝食をとる意義を注釈につけたうえで、アンケートした方が、健康啓発に繋がるかと思えます。児童教育から、メリットを説明すべきではないでしょうか。	アンケート実施に関する助言として、検討させていただき、次回の実施における参考とさせていただきます。
16	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（6）	29	意見	市内産の野菜購入の設問の意図が伝わらないかと思えます。地産地消で栄養価が高いからなのか、アンケートに勧めたい意図を説明した方がいいと思えます。	アンケート実施に関する助言として、検討させていただき、次回の実施における参考とさせていただきます。
17	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（6）	29	質問	食生活の問題について、自分の嗜好による食事の選択なのか、外食でやむを得ない選択なのか気になります。	何を、どのように食べるのか、やむを得ない選択の場合であっても体に良い食事をしていただけるよう食育について周知していきます。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
18	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（6）	29	質問	市に期待することとしての選択肢「飲食店・食料品店と連携した取組」はどんなことを想定したものなのでしょうか。	それぞれの飲食店や食品店の特徴を生かして、市内の農産物を使った料理や加工品の提供などを進めることや市内の食に関する事業者同士をつなげていくことです。昨年11月に実施した「コラボむさしの」イベントもその一つと考えます。
19	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（7）	30	質問	歯科健診の受診状況はよくないようですが、全員受診すると税金を多く支出することになります。全員が健診受診を実現すべく、予算措置ができるのでしょうか。健診項目からレントゲンを削除するような噂も聞きましたが、健診の質の低下はより問題かとも思います。	現在の健診内容で、対象者全員が受診する予算措置は困難と考えます。国の「皆歯科健診」に関する法案の内容や動向を注視し、市の歯科健診事業の内容や実施方法について検討いたします。
20	第1回部会	6	2（7）	31	意見	各種がん検診の認知・受診頻度、受診しない理由について、検査対象年齢によって分析すると違う結果や傾向があるのではないかと。	アンケート調査84～96ページのクロス集計分析のとおりです。
21	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（7）	31	意見	参加したい生活習慣改善講座について、年齢層による希望状況も確認したいと思います。健康維持について関心の高い市民は、毎回参加を希望することが予想されるので、講師やテーマについては、常にリニューアルされるとよいと思います。	年齢層による希望状況は、クロス集計で確認いただけます。講座の内容についてはご意見として承ります。
22	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（7）	31	質問	全数の回答結果ですが、年齢別の結果はあるのでしょうか。	クロス集計があります。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
23	質問・意見提出用紙（メール）	6	2（7）	31	質問	前回の結果が示されていない項目は、今回新規に追加した項目でしょうか。	そのとおりです。
24	第1回部会	7		33	質問	令和4年度届け出された妊娠届出書のうち、外国人妊婦のものは何件か。	健康課で国籍は把握できない為、外国人妊婦数は不明だが、支援した外国人妊婦は15名だった。
25	質問・意見提出用紙（メール）	7	2（2）	34	質問	育てにくさを感じる内容は、児の年齢別に具体的な傾向はあるのでしょうか。	乳児期は母乳やミルクを飲まない、夜寝てくれない、幼児期は偏食やイヤイヤ等、成長過程により相談内容は変化していくものと思われます。
26	質問・意見提出用紙（メール）	8-③		39	質問	自殺対策関連事業がこれほど多くできているとは知りませんでした。当事者への周知はどのようにしているのでしょうか。	各事業で主管課にて周知していることに加えて、市のHPにて、「生きることの支援(自殺対策)」という自殺対策特設ページを作成して、生きることの支援に関する武蔵野市・国・東京都等の各種相談窓口を、悩みを抱える方にご案内しています。自殺総合対策計画などの取組みも周知しています。 また、検索連動型広告という手法で、自殺に関するキーワードを検索した方（自殺ハイリスク者）に優先的に当該HPを表示する取組みを令和4年7月より開始しました。
27	質問・意見提出用紙（メール）	8-④		41	意見	受診率の追跡は必要と思いますが、目標は市民の健康度合の向上であり、各健診の対象者別の健康項目の良化にした方がよいかと思えます。	ご意見として承ります。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
28	第1回部会	8-④		43	意見	がん検診について、武蔵野市民の健康を考える会なので、市の検診以外を受けている人の数を把握する必要があるのでは。（今後）	アンケート調査の結果（市の検診を受けない理由が「人間ドックを受けている」「職場の検診を受けている」）を参考に、市民の健康に資する施策を検討したいと考えます。
29	第1回部会	8-④		43	意見	妊婦さんで子宮がん検診を受けている人の割合を、子宮がん検診の検診率に含めるとよいのでは。（今後）	対象年齢の市民の受診割合として、今後参考にさせていただきます。都全体、都内自治体と本市の状況を比較するためには、東京都の受診率算出方法を採用することが必要と考えます。 （令和4年度の妊婦健康診査で行った子宮頸がん検診は1,060件でした。）
30	質問・意見提出用紙（メール）	8-④		43	意見	【補足】会議でがん検診について質問したことについて補足です。委員長に指摘されるまで気づいていなかったのですが、市民へのアンケート問35で市のがん検診の実態について聞いています。市のがん検診を受けていない方は例えば胃がんで7割以上ですが、そのうち半数近くが人間ドックや職場での健診を受けておられます。対象が異なることなど単純に数字として組み入れられないとは思いますが、がん検診の受診率を説明する際には補足として上記のことを説明した方が市民のがん健診についての姿勢、考え方が伝わりやすいのではないかと考えました	受診率説明の際の補足説明を行うようにいたします。
31	質問・意見提出用紙（メール）	8-④	◆歯と口腔の健康維持に向けた取り組み◆	44	質問	1歳6か月児と3歳児の歯科健診受診率（受診者）の明記はありませんが、P41の各健康診査の受診率（受診者）と同様でしょうか。受診者が同様で、そのうちのむし歯のある児の割合なののでしょうか。	歯科健診受診率、むし歯のある児の割合については、委員お見込みのとおりです。健診を受診していない児のむし歯の状況の把握は困難と考えます。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
32	質問・意見提出用紙（メール）	8-④	基本施策4	46	質問	令和4（2022）年度実績値の「こんにちは赤ちゃん訪問実施率」についてです。「産後30日以内に状況が把握できた家庭の割合」との違いの背景は、どのようなことがあるのでしょうか。	「こんにちは赤ちゃん訪問実施率」は、家庭に訪問できた率である為、長期の里帰り等で訪問できないケースもあり「産後30日～」より低い実施率となっています。
33	質問・意見提出用紙（メール）	8-④	基本施策4	46	質問	令和4（2022）年度実績値の「こんにちは赤ちゃん訪問実施率」についてです。児童福祉法の乳児家庭全戸訪問事業のみの実績なのでしょうか。または、母子保健法の新生児訪問の実績も合わせた実績なのでしょうか。	新生児訪問は乳児家庭全戸訪問に含めています。
34	質問・意見提出用紙（メール）	8-④	基本施策4	46	質問	令和4（2022）年度実績値の「産後30日以内に状況が把握できた家庭の割合」についてです。 「こんにちは赤ちゃん訪問実施率」との割合の違いの背景は、どのようなことがあるのでしょうか。	「産後30日以内に～」は、お誕生連絡票や産後電話等で児の体重、分娩の経過や母の心配事等を把握し、早めに「こんにちは赤ちゃん訪問」へつなげるために実施しています。
35	質問・意見提出用紙（メール）	8-④	基本施策4	46	質問	令和4（2022）年度実績値の「産後30日以内に状況が把握できた家庭の割合」についてです。 母子保健法の新生児訪問のみの実績なのでしょうか。または、児童福祉法の乳児家庭全戸訪問事業の実績もあわせた実績なのでしょうか。	「産後30日以内に～」は、お誕生連絡票や産後電話等で児の体重、分娩の経過や母の心配事等を把握し、早めに「こんにちは赤ちゃん訪問」へつなげるために実施しています。
36	質問・意見提出用紙（メール）	8-④		50	意見	自殺の実態について、年齢別、性別、理由別についての分析結果も確認したいです。	資料1-④のとおりです。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
37	質問・意見提出用紙（メール）	8-④		50	意見	自殺率の改善と目標達成の状況（速報値）は皆様のご尽力のおかげだと思います。今後の目標策定のため、次回の会議で、全国と東京都の平均自殺率、近隣の市町村の自殺率を比較のためにわかる範囲でお知らせください。（個人的には全国、東京都、三鷹市は調べてみました）	令和3年 ・全国平均：16.5 ・東京都平均：15.9 （『東京都自殺総合対策計画～こころといのちのサポートプラン～（第2次）』より） ・近隣自治体 ※第2回専門部会資料1-④参照 三鷹市：17.4、府中市：18.4、調布市：19.3、小金井市：11.3、狛江市：12.0 （計算方法：令和3年自殺者数（厚労省HPに掲載）／令和3年1月1日時点の人口×10万人）
38	質問・意見提出用紙（メール）	9	(1) 健康・福祉基本施策2(1)	52	質問	かかりつけ医などと連携および情報共有して、目ざす「地域医療体制」とは具体的にはどんなイメージのものでしょうか。	市民が身近な地域で、総合的な診療能力のあるかかりつけ医を持つことができ、また、地域における医療・介護関係者などの多職種連携による在宅生活支援等により、様々な医療ニーズに対応できる体制のことで
39	質問・意見提出用紙（メール）	9	(1) 健康・福祉基本施策3(1)	52	質問	オールライフステージにわたる相談支援体制とありますが、年齢、相談内容によって、相談者の専門性が問われます。 個人的な相談経験からすると、臨床心理士でも単なる傾聴しかできないのでは全く役に立たず、どのように最適な相談者につなげる仕組みを考えているのでしょうか。	福祉総合相談窓口の設置や、総合支援調整会議の開催等により、保健、医療、介護、福祉分野における多職種連携を推進し、多様かつ複合的な課題を抱える市民の困りごとの解決に向けた重層的な相談支援体制の強化に取り組みます。

番号	媒体	資料	項番	ページ	種別	質問・意見内容	事務局回答・対応方針
40	質問・意見提出用紙（メール）	9	(1) 健康・福祉基本施策4 (1)	54	意見	高い市民力の源泉である福祉団体の新しい担い手の発掘とあるが、無償のボランティアであれば、責任をもって奉仕するのではなく、無理のない範囲で活動するものと考えます。奉仕人材へのインセンティブをより充実させる方策には賛同しますが、行政が責任をもって主導的に市民へのサービスを提供することが必要かと考えます。	健康施策と異なる分野へのご意見となりますので、地域支援課へ伝えます。
41	質問・意見提出用紙（メール）	9	(2) 子ども・教育大綱4	55	意見	「子どもの生きる力」とは、将来の可能性を拓ける支援のように理解しました。しかしながら社会人として必要とされるマナー、ルールの順守は成人も含めて悪化しているように感じます。家庭、地域社会、学校での躰がされぬまま、成人となる若者が多くなっています。能力開発だけでなく、多様な人間の存在を尊重する学校教育を望みます。	健康施策と異なる分野へのご意見となりますので、指導課に伝えます。
42	質問・意見提出用紙（メール）	9	(2) 子ども・教育大綱5	58	質問	教員の週当たりの在校時間を短くする施策として、市講師の設置をしているようですが、巷では事務作業、PTA対応が大変な負担と聞きます。どのような対策がされているのでしょうか。	武蔵野市教育委員会では、先生いきいきプロジェクト2.0において、副校長等事務補助臨時的任用職員を週20時間配置しています。 副校長をはじめ、教員の教材等の印刷や会議資料の印刷・配布、掲示物の貼り換え、提出物のチェック、書類の整理等、教員の業務支援を行い、事務作業の負担軽減を図っています。